

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

「子育て・子育て改正法」安全の確保と事故の防止は正しいか？

◆黙って見過ごせない改正法

阿部知子は4月4日に行われた内閣委員会で質問。野党抜きの強行採決によって本会議で成立した「子ども・子育て改正法」について重大な問題点を指摘しました。待機児童問題の解決、幼児教育環境の充実は与野党で同じですが、保育施設を増やすだけの単なる「量」の拡大では痛ましい「保育事故」は無くなりませ

◆まず何より保育死亡事故の防止を

前国会での厚生労働委員会でも「保育死亡事故」について質問しましたが、未だ抜本的な対応が極めて不十分と言わざるを得ません。痛ましい事故は被害者である子どもやご家族のみならず、保育に従事していた職員にも大きな禍根や後悔を残すものです。今回の法案ではそれら議論がなされず、とにかく規制緩和の議論を進める内容でした。

特に問題は二つ、一つ目は、内閣府の進める「企業主導型保育所」です。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町) 当選7回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともここどもクリニック(湘南台)理事長 現在、内閣委員会筆頭理事・予算委員会委員



http://twitter.com/abe_tomoko



<http://www.facebook.com/abetomoko>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

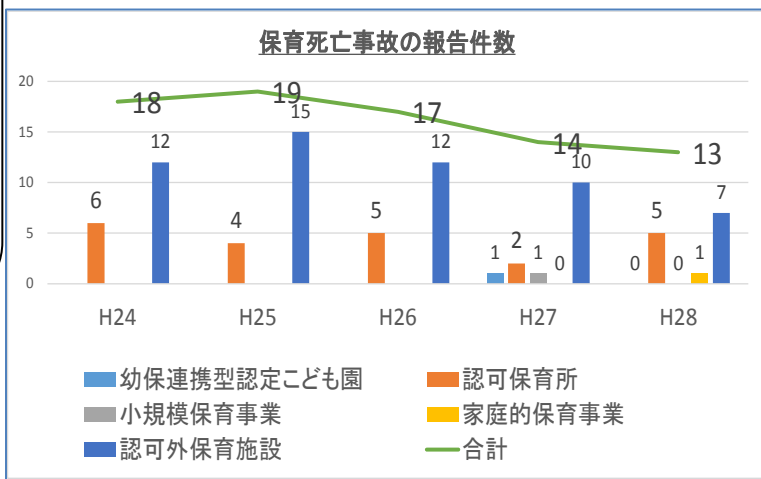
横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592

政府は、自治体の認可保育所の拡大だけでは解決しない待機児童問題に対し、企業主導型保育所の整備に力を入れています。ところが2018年3月9日に朝日新聞朝刊で報道のあった「施設監査において約7割が問題」と指摘されているように「保育士不足」「保育計画の未整備」「アレルギー対応が不十分」等、子ども達の生命に係る重大な問題が複数の施設でおきています。

二つ目は、規制改革会議の進める保育施設・人員配置の規制要件緩和です。政府は規制改革に有利になるような恣意的な資料を規制改革会議に提出。出された答申に沿って緩和させる法案をつくりました。各自治体では待機児童解消の受け皿を拡大する為、保育所の整備を進め、特に23区では毎年着実に環境整備に取り組んでいます。同時に安全の為に保育士さんの配置を増やしてもいます。



この自治体の努力を無視したかのような「加配すると待機児童が増える」というデータに対し、阿部知子は内閣府、子ども・子育て担当大臣に対し厳しく質しました。

厚生労働省 HP「報道資料」を基に阿部知子事務所作成